



株式会社 シー・アイ・シー

家電製品をリユース
取り扱い製品を拡大し
新たな市場を創出

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



高崎市

住所 高崎市東貝沢町一丁目16番地1

T E L 027-370-1144

M a i l info@cic-jp.com

U R L https://www.cic-jp.com

代表者 太田 伸一

設立 1997年6月27日

資本金 8,150万円

従業員 279人

WEBサイト



企業紹介

CICでは、家電リサイクル法に基づくリサイクル家電や産業廃棄物の収集運搬処理を行う「環境事業」と家電製品の再生品化「点検・分解・洗浄・修理」などを行う「リユース事業」の2つの両輪で事業を展開しております。ヤマダHDグループの一員として「暮らしをシェアワセにする、ぜんぶ。」のコンセプトのもと、CICは家電製品を中心としたリユース・リサイクルを通じ環境面・経済面での様々な役割・サポートを行っています。

経緯・背景

CICは、1997年に産業廃棄物収集運搬処理事業よりスタートし、2001年家電リサイクル法施行に伴い使用済みの家電製品中で「まだ使えるものもあるのではないか?」という観点から家電製品のリユース事業を立ち上げました。その後、生産工場を第一、二工場、県外に滋賀工場、そして新工場を増設し、取り扱い製品も冷蔵庫、洗濯機、テレビ、小型家電、エアコンと拡大させて、家電製品のリユースという新たな市場を創出するまでに成長を遂げました。SDGsの達成に向けて、当グループが掲げるテーマの1つである「循環型社会の構築と地球環境の保全」の取組をミッションとして事業推進を図っています。

新工場竣工し生産能力向上 廃棄物の収集・運搬で 持続可能な循環型社会へ

具体的な取組・成果

●リユース事業

現在に至るまで藤岡リユースセンターでは、家電製品を「100万台」以上再生品化し、リユース家電として再度商品化しています。東日本エリアを中心とした、ヤマダデンキの店舗にて、お客様から買い取りした家電製品が集められ、各品目ごとに「点検→分解→洗浄→修理」といった再生工程を経てリユース家電に生まれ変わっています。今後は、2022年4月に竣工したCICが運営する「ヤマダ東日本リユースセンター群馬工場」を中心に年間「15万6千台」が生産可能となります。(既存比:2.6倍増へ)



洗濯機洗浄ライン



洗濯機「一次点検」



専用機による業務効率化

●環境事業

ヤマダデンキの店舗を中心にリサイクル家電や産業廃棄物の収集運搬処理を行い、あらゆる場所や規模に応じた事案にも対応可能な廃棄物の静脈ネットワークを日本全国に構築しています。適時適正な提案力とコンプライアンスを遵守した対応力で様々なシーンを解決します。



各種自社車両を完備

当社にとってのSDGsビジョン

地球環境や社会問題に対して、当グループが掲げる「創造と挑戦」「感謝と信頼」の理念のもとに、CICが目指す「持続可能な循環型社会」に向けて活動領域をさらに拡大させていき、全ての人たちが安心して暮らせる生活環境に貢献していきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

ヤマダHDグループの一員としてCICは、SDGsの目標達成に貢献するため、1つ目は「廃棄物の減容及び適正処理」2つ目は「サーキュラーエコノミー」3つ目は「家電製品をリユースによって長期使用を可能にする」このような取組を実行し資源循環社会の実現を達成していきたいと考えています。

